

TPMS

Tire Pressure Monitoring System

HT430 BLE



Bluetooth機能搭載型
商品ご紹介



株式会社 オレンジ・ジャパン

Bluetooth搭載 HT430BLEシステム

基本機構は従来のまま、
警告ランプボタン型表示とBluetooth機能を
新搭載したスタンダードモデルを新設定。

警告のみ即時お知らせする警告灯ランプ型で、
コンパクトな丸型仕様により、運転席付近に装着して
も邪魔になりません。

異常時にタイヤ空気圧/温度を数値で見たい場合は、
端末機器とペアリング連動するだけで確認が可能です。

TPMSとは？…

タイヤ空気圧とタイヤ内温度をリアルタイムで計測しており、
タイヤの異常時に、即時ドライバーへお知らせするタイヤ危機/安全管理強化
が可能な補助器です。



商品体系ラインナップ

【新設定】
スタンダード
モデル

LED警告灯ランプ
(警告のみ)



【新機構】
端末機器連動

端末機器連動
スマートフォン・タブレット等
(数値表示可)



**固定型
モニター**
(時期発売予定)

固定型モニター
(オプション)



■ スタンダードでのご使用(警告のみ)

[装着使用イメージ]



スタンダードタイプの表示器 ボタン型LED表示

- コンパクトなボタンタイプにより、場所を選ばず装着が可能。
- 異常の際に、ドライバーが瞬時に気が付くよう、ランプ点滅と警告ブザーでお知らせ。
- 異常時に鳴る警告ブザーはボタンを押せば消音。



正常時



- 異常時
- マーク点灯
 - 警告ブザー

■ 端末機器ペアリングでのご使用 (Android)

[装着使用イメージ]



端末機器とのペアリンク

Bluetooth搭載ECUを設置する事で、Android端末機器とペアリングが可能です。

(※ Android 5.1 以上対応)



■ 新機能詳細

端末連動機能

端末機器とのペアリング連動可能。

端末機器（スマートフォン・タブレット等）とのペアリングによって、タイヤ空気圧/温度の数値確認が可能。

ローテーション時/ID登録/センサー交換時にはペアリングが必要となります。



データログ機能

データロギング機能搭載。

端末機器（スマートフォン・タブレット等）とペアリングすることで、タイヤ空気圧/温度の過去2か月間のデータ取得が可能。



ナンバリング機能

HT430BLT ナンバリング機能搭載。

ナンバリング機能とは、HT430（BLE）内に4桁数字登録が可能。登録した4桁数字での個体管理が可能となります。






表示/リレー機能

ボタン型警告点灯/リレー機能搭載。

HT430（BLE）に付帯するLED警告点灯ランプによってタイヤ空気圧/温度異常を即時お知らせ。リレー機能の別用途への変更も可能。



■ タイプ別利用性

【新設定】スタンダードモデル		利用性	
<p>LED警告灯ランプ (警告のみ)</p>		<p>とりあえずタイヤ空気圧/温度の異常だけ警告してくれれば…</p>	<p>警告のみで十分であればスタンダードタイプがお勧めです。 タイヤ空気圧/温度のいずれかの異常時に警告点灯とブザーでお知らせするタイプです。</p>
【新機構】端末機器連動			
<p>Bluetooth搭載 スマートフォン・タブレット (数値表示可)</p>		<p>やっぱり数値でタイヤ空気圧/温度が見たい・知りたい！ でもコストを掛けたくない…</p>	<p>Bluetooth搭載の端末機器（スマートフォン・タブレット）があれば、専用のアプリケーションをダウンロードしてペアリングすれば、タイヤ空気圧/温度数値を見ることが出来ます。</p>
固定型モニター			
<p>固定型モニター (オプション)</p>		<p>モニターを固定して、タイヤ空気圧/温度を常時モニターで見たい…</p>	<p>固定型モニター（※時期発売予定）</p>

車載器連動

デジタルタコグラフ連動

T P M S連動による事務所での確認可能。
異常時に即時事務所へ発報!!



YAZAKI DTG7
(LTE通信型)



富士通 DTS-C1/D1
(クラウド型)



システック
ロジこんぱす



<事務所側>

- 動態画面で各車両 T P M S 情報を表示
- 異常時にポップアップにて通知
- 警告閾値の設定可能

その他連動可能車載器

IoT T P M Sクラウドサービス
(タイヤ情報遠隔モニタリング)

SoftBank



従来、装着タイヤの空気圧とタイヤ内部温度は、トラックの車載モニターで管理していましたが、同コンセプトシステムではネット環境にあるパソコン・タブレット・スマートフォンなどの端末であればどこでもリアルタイムでその情報が取得が可能となります。